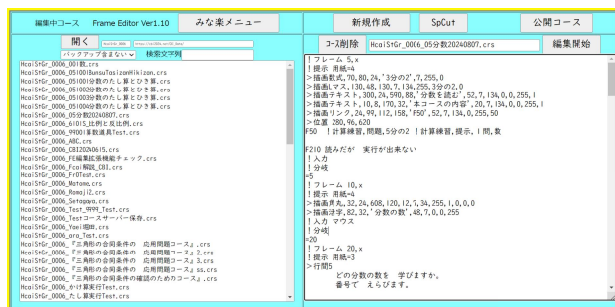
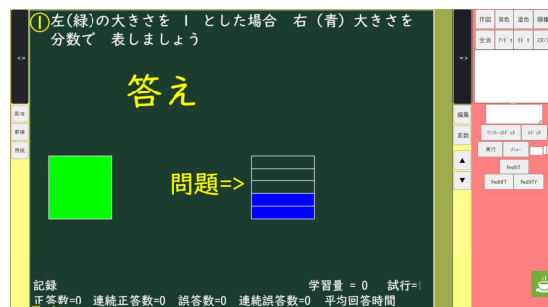


CBI研究会のホームページを通じて FCAIを 世に取り戻したいと考えています。
堀口先生が開発し 世に発信した教育ソフトは とても素晴らしいものでした。みなさん
は よく理解されていると思います



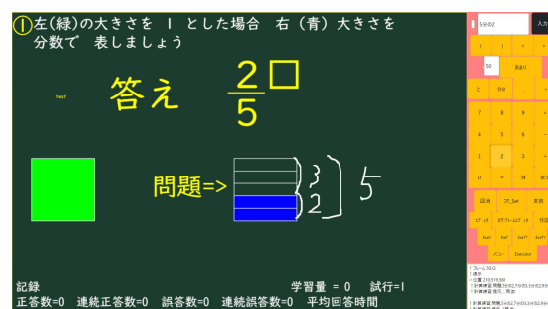
コース作成用メニュー画面



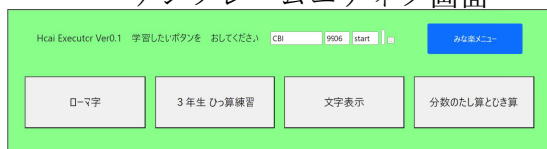
フレーム作成支援の画面



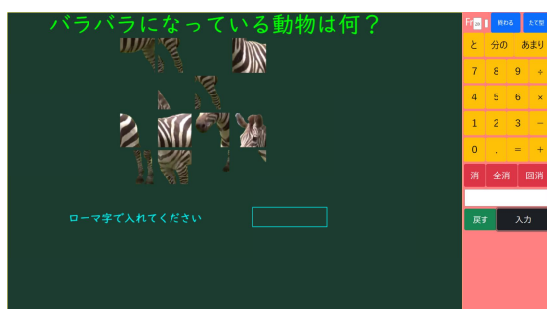
フレームを編集する
ワンフレームエディタ画面



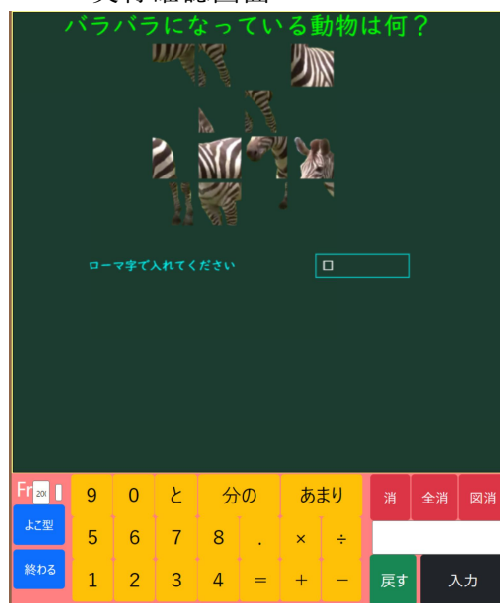
実行確認画面



エグゼキュータのコース選択画面



エグゼキュータ 横置き時の画面



エグゼキュータ 縦置き時の画面

これは、オーサリング（コース作成）およびエグゼキュータ（学習実行）の現時点での画面イメージです。

CBI研究会のホームページでは、かなりイメージが変わると思われます。

CBI研究会のホームページの特徴

CBIビレッジからCBIワールドを目指す 疑似メタバースのようなもので、そこでは、会員が建物や部屋を管理し 以下のようなことができます

- ①新たな記述形式で作成された学習コースが実行できます。
 - ②学習コースを 自作することができます。
 - ③学習者の調べ学習したデータをカードにまとめることができます。
 - ④③も利用し、遠隔地共同学習を行うための支援ができます。
- その他、堀口先生と開発してきたソフト群を、世に発信します

一般への公開は、来年度中としています。10月例会で 提案し 理解いただいて 本格作業に入ります。

一般公開までメンバーにご協力いただいて 使用環境を育てていく予定です。

CBI研究会のホームページを 通じてしたいこと

- ・ 学習履歴の活用に関わる研究
- ・ 学習コース開発に関わる新記述形式の作成
- ・ エグゼキュータに加えた道具、教具、教材を授業でいつでも使える環境の提供
- ・ バーチャル世界からリアル世界への理科実験教材の配信と利用上の問題
- ・ 遠隔地共同学習と学習者が作成した情報カードの利用に関わる研究
- ・ 情報カード作成時に 情報の重要性を認識させる仕組みの研究

堀口先生が デジポケッツや楽習くん で 提起されていた宿題：このカードに

- 収集カードに目的を明記
- カード個々に重要度を設定：非常に重要、大事な情報、ふつう、気になるのでのこしたいを 付ける
- 一定時間ごとに カード整理を促すタイマー機能
- 収集データをみての気づきをする メモカード
- カード全体を ブラウズする一覧（カード一覧、内容一覧、重要度順）
ソート機能などもセットした
- 情報カードを 授業時に他者への発信で使うプレゼン機能
名古屋の研修では 短時間で発表資料作りをし 研修者の成果を広め合った
- カードから掴んだことをまとめて ワープロによる新聞作り支援機能

堀口先生の指示は とても多く 当時 学校に戻ったばかりでバタバタでしたが 深夜にソフト作りをする時間が 楽しかったこと 覚えています

当時の藤沢市は 3人に1台のPC教室がやっとでき CAI教材は作る時間がなかったけれど デジカメと楽習くん で 社会科実践で 公園、お店屋さん調べ、公民館探検、ロールプレイングゲームを作ろうなど 楽しい授業ができました

1995年に国立教育研究所の内留で開発した楽習くんは 海老名市で 「わたしたちの海老名」という副読本を電子化し さらに 学校で 子どもたちが調べたデータをカード化、これを教育センターが集めて 一本のデータベースにまとめ CDROMで 提供し 交流を図ろうという 実践を行いました。

この時点では 校内で各データを見合える環境が提供できましたが インターネットはまだ未熟で カードをホームページに変換する機能もあったが 使えなかった。そのため 学校間でのやりとりはできずに終わっている

以下は、海老名市教育センターと海老名小学校、有馬小学校で作成されたカードです。



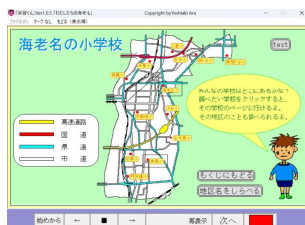
楽習くん起動画面



カード一覧画面



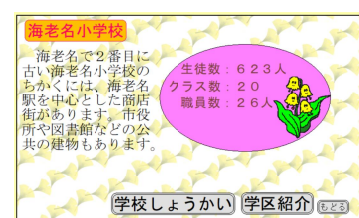
実行時 最初のカード



海老名小と有馬小交流



教育センターがここまで作成



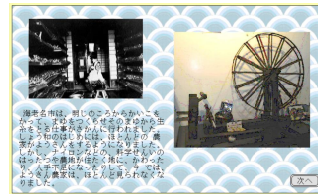
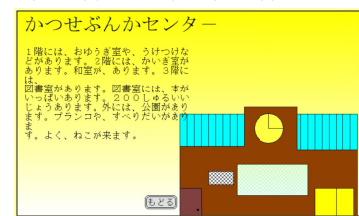
海老名小の教師が作成



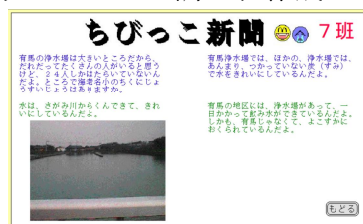
海老名小の学区紹介：教師作成



海老名小の子ども達が調べ、作成したカード



海老名小の子どもたちが調べ、作成したカード



有馬小学校の子どもたちは、新聞の形でカードを作成しました。海老名小学校の子どもに質問をしている箇所が 見られます。

以上のように 研究課題は多数あり 過去の実践を 円滑に行える環境作りにも 力を入れていきたいと考えています。

情報活用能力の手引きが出て 四半世紀がたつが 現場ではその存在する知らない教師（管理職も含む）ばかり 皆さんの仕事がつきることがないと思いますが CBI研究会のホームページは ここに風穴を開けられたらと思っています

11月頃から コース作成ページからCBIメンバーにオープンしますが 同時にみなさんにも 触れるようにしたいと思いますので 御高覧いただければ幸いです。

CBI研究会 幹事 荒 義明